

令和2年7月豪雨による 災害応急用ポンプの貸出し状況

【はじめに】

令和2年7月豪雨は、全国の広範囲に渡り農地や農業用施設に甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

今回の豪雨災害を受け、山形県並びに関係土地改良区から災害応急用ポンプの貸出し要請がありその対応を行いました。



写真 浸水した中山揚水機場（三郷堰土地改良区）

【豪雨被害に対する貸出し対応】

7月27日（月）から降り続いた豪雨により、7月31日（金）以降から、次々と災害応急ポンプの貸出し要請がありました。ポンプ貸出し先の被災状況は、大雨による揚水・排水機場の浸水被害がほとんどで、即時対応を必要とした依頼が多く、令和2年8月3日～18日までの間で、6箇所にて19台の貸出しを行いました。（なお、ポンプの貸出し対応については、東北農政局による災害復旧支援として、地元のテレビニュースで放送されました。）

表 令和2年7月豪雨にかかるポンプ貸出し状況

被災施設	所在地	設置箇所数	設置台数
上竹野用水路	山形県大蔵村	1箇所	2台
鶴の子揚水機場	// 新庄市	1箇所	2台
長峯揚水機場	// 村山市	1箇所	5台
西郷一段揚水機場	// 村山市	1箇所	7台
中山揚水機場	// 天童市	1箇所	1台
下釜排水機場	// 河北町	1箇所	2台
合計		6箇所	19台

【地方農政局からの支援状況】

当事務所では、自局分の災害応急用ポンプ51台と、昨年度の台風19号による災害に対応するために借り受けしていた8台（東海局3台、北陸局5台）の合わせて59台を所有し、体制を整えておりましたが、昨年度の台風による被災地への貸出しもあり、今回の豪雨災害への対応できるポンプが不足してきたことから、関東農政局にポンプの管理換え（4台）を要請し対応しました。

【山形県大蔵村（上竹野用水路）での対応状況】（水中ポンプ Φ200mm 1台、Φ150mm 1台）

◆取水口が土砂の堆積により閉塞したため、河川にポンプを設置し直接用水路へ導水しました。



銅山川より取水



用水路へ導水

【山形県新庄市（鶴の子揚水機場）での対応状況】（水中ホソッ Φ150mm 2台）

◆揚水機場が浸水により被災し機能不全となったことから代替としてポンプを設置し揚水しました。



取水口より取水



用水路へ導水

【山形県村山市（長峯揚水機場）での対応状況】（水中ホソッ Φ150mm 3台、陸上ホソッ Φ150mm 2台）

◆揚水機場が浸水により被災し機能不全となったことから代替としてポンプを設置し揚水しました。



吸水槽より揚水



吐水槽へ導水

【山形県村山市名取地区での対応状況】

（排水パッケージホソッ Φ200mm 4台、水中ポンプφ200mm 2台、水中ホソッ Φ100mm 1台）

◆揚水機場が浸水により被災し機能不全となったことから代替としてポンプを設置し揚水しました。

この機場は揚程が高く送水距離が長かったため、ポンプ配置を3段として対応しました。



機場吸水槽より揚水



パッケージポンプ1



パッケージポンプ2



吐水槽へ導水

【山形県天童市高掬地区での対応状況】（水中ポンプ Φ200mm 1台）

◆揚水機場が浸水により被災し機能不全となったため、排水路にポンプを設置し反復揚水して対応しました。



排水路より取水



用水路へ導水

【山形県河北町谷地地区での対応状況】（水中ポンプ Φ250mm 2台）

◆排水機場が浸水により被災し機能不全となったことから代替としてポンプを設置し排水しました。



操作盤、発電機設置



ポンプ設置

【最後に】

今回の災害では、以上のように揚排水機場の浸水被害が多く発生しました。

台風等による災害は近年毎年のように発生しており、全国各地で被災している状況です。被災に対応した経験を生かすため、生じた課題を整理・分析し、日頃からの体制整備を万全にしていきたいと考えています。